

目的 開国以来、上流階級の洋装化に伴い、風俗習慣の欧風化を積極的に導入した。それら階級の女性にも社交乗馬の風習が採用されると共に、女性用の横乗り乗馬服がわが国初のスポーツ着の一つとして用いられた。その特殊なシルエットとそれを表現している構成面に興味をい দিয়ে、鍋島報效会管蔵 婦人乗馬服の研究をおこなった。

方法 実物調査及び復元による考証

乗馬服の機能に対する構成面を解明するために復元を試み、更にそれが実際乗馬した場合にどう機能するか、着装観察をおこなった。

結果 乗馬するための特殊な条件に適合させるために考えられた構成面、並びに補助素材等について理解を得ることができた。